

学力の保障と向上

～子どもたちの力を確実に伸ばすために～

4月の教科書との
出会いを大切に！

学年当初に「学びのナビゲーション」に
あたる紙面を設定し、子どもたちを
主体的な学びの確立へと導きます。



算数

「教科書の使い方」

「学習の進め方」

「わくわく算数学習」

「わくわく算数ノート」

丁寧な解説で、1年間の学習に子どもたち自身が見通しをもって取り組めます。

理科

「見つける」「調べる」「ふり返る」のステップを可視化し、問題解決の能力を高めます。また、「はじめに考えてみよう」「もう一度考えてみよう」の対比から、自分の成長を実感できます。

見通しをもった学習、主体的な学び

子どもたち自身が確実に学力を身に付け、それを伸ばしていくために、教科書を通して、学び方を学び、学習の見通しがもてるようになっています。

本編中にも
使いやすさがいっぱい

内容のまとめごとに「めあて」を明示したり、学習の流れを「見える化」したりすることで、より学習が焦点化され、自らめあてをもって、集中して学習に取り組めます。



生活

紙面右下の「めくり言葉」で次の活動への思いや願いの例を示し、活動の連続性や広がりをサポートします。



学びのめばえ



学習のめあてのれい



学習のまとめ

算数

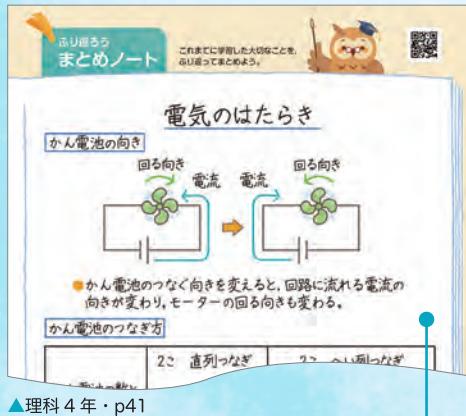
「めばえ」→「めあて」→「まとめ」
「めばえ」は新しい学習につながる考え方や気づき。「めあて」はその学習の大事なポイント。「まとめ」は学習したことの定着を図ります。

英語

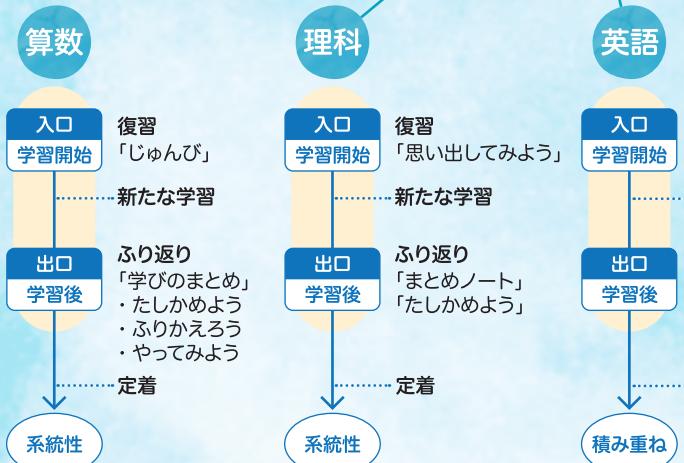
「GOAL」「めあて」「バロメーター」
扉にはユニット全体の「めあて（GOAL）」を明記し、できるようになりたいという意欲を高めます。
また、Partごとの「めあて」と「バロメーター（できたかな？）」で、子どもが自分で学びの達成度を確認できます。

内容の理解と定着

学習内容を理解し、それを定着させるには、「学習の入口と出口」が重要です。啓林館では、「レディネス・チェック（これまで学習したことの復習）」と「ふり返り」の場を十分に確保しました。



重視した「学習の入口と出口」

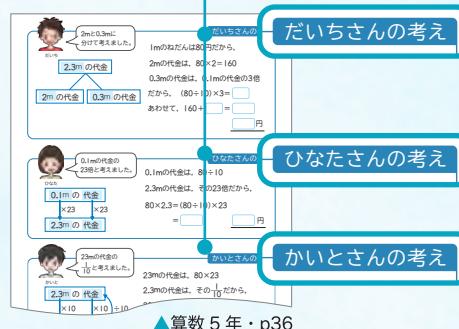


見方・考え方

教科ごとの「見方・考え方」を大切にして、確かな資質・能力を育みます。

算数

筋道を通して考える能力を大切にしています。また多様な考え方方に触れる場面を充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現します。

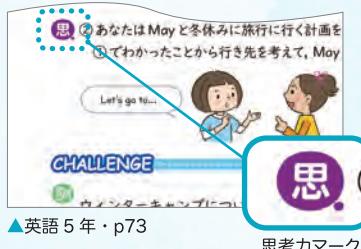


理科

「理科をふり返ろう～理科の見方～」「理科の考え方をはたらかせよう」

英語

「REVIEW」には、各学期のまとめの活動を設定しています。特に場面や状況を考え判断する問題には「思考力マーク思」を付け、深い学びへつなぎます。



全国学力・学習状況調査等の分析から

各種学力調査の出題内容や調査結果の傾向を丁寧に分析。課題が認められる問題そのものだけでなく、その問題につながるまでの学習内容・学習経験も含めて系統的な検討を行い、教科書紙面に反映させました。



③

間違いややすい問題

各单元の復習で、「間違いややすい問題」には★マークを付けて注意を促しています。